

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市芦の口児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3 指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4 施設の利用状況	《利用者数》 9,945 人 (前年度比 46.0 %) 令和元年度 21,612人 平成30年度 22,289人 平成29年度 21,660人
	《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 28,941 千円 (30,153 千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（ 特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘 ）による自己評価》
<p>■児童健全育成事業■ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、小中高生の利用を制限せざる負えない状況で小学生は土曜日9時30分～11時30分迄、中学生は土曜日14時～16時まで利用時間を決めました。利用者は少ないものの、つながりは保ちたいと考え、館だよりやブログで児童館の様子を発信し続けました。</p> <p>■子育て家庭支援事業■ 助産師さんが母親達の相談を個別で相談を受ける「ことり一む」では母親達に乳幼児の発達に必要なことは十分に愛された実感と遊ぶこむことだと励ましてきました。また、月に1～2回乳幼児親子対象の行事は参加組数を決め予約制で行いました。毎回好評で親子で楽しく参加していただきました。</p> <p>■地域交流推進事業■ 「子育て支援クラブあしっこ」は館行事の協力や主催行事は子育てを終えた会員と子育て中の会員が和気あいあいと行っています。行事は児童館と共催して行いました。また、館だよりの「あしっこラム」のコーナーを設け、子育てについて地域の方々に発信しました。</p> <p>■放課後児童健全育成事業■ コロナ禍という状況の中、クラブでは3密を避け、遊び方を工夫しながらストレスなく楽しくすごせるように工夫してきました。特に、長期休業日は小学校の施設や備品を借用したりするなど協力をいただきました。大きなケガや事故やいじめがおきないよう職員体制を手厚くしました。また、支援を要する児童に適切に対応するため団体独自で「児童館サポート事業」に取り組み、児童一人一人に丁寧に向き合うことを心がけ、大人も子どもも支え合い、育ちあうことのできる運営を今後も続けていきたいと考えています。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度は、コロナ感染症の影響で緊急事態宣言が4月に発令され、小学校が5月まで休校となったが、休校中も児童クラブの受け入れを行った。この間、乳幼児親子の自由来館及び小学生の自由来館を休止していたが、その後、乳幼児親子の自由来館は6月から平日午前のみ再開し、小学生の自由来館は10月から土曜日のみ再開した。感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力を要した児童館運営となった。感染症予防の観点から地域との交流は減ってしまったが、小学校との連携を深め、子ども達の生活や遊びの場所として教室や校庭を使用したり、児童の情報交換などを細やかに行うことができた。</p> <p>子育て家庭支援事業として、「ちょこっとあそぼう」では、「どんぐりちゃんとあそぼう」での乳幼児向けの遊びのプログラムや「しがちゃんとえのぐあそび」、ベビータッチングケアなど様々な内容で毎回好評を得ている。また、地域の人材を活かして「ことり一む」での助産師による子育て相談を定期的に開催したり、子育て支援クラブとの共催で「お楽しみ会」を開催したりなど趣向を凝らした事業を通し地域の子育て家庭を支援している。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、スタッフの豊かな創意工夫により子ども達に充実した遊びを提供しており、「わくわくタイム」では長期休みに遊びの企画をし、季節を取り入れた遊びや子どもの興味に即した遊びで子どもの豊かな感性を育んだ。日常的な遊びの場においても、子ども達の興味関心に沿った遊びを提供しつつ、遊びの予定を掲示することで、子どもが自分自身で遊びや勉強の時間を考えて、活動に主体的に関わっていけるような工夫を行っている。利用者アンケート等の意見にも子ども達が豊かに遊んでいることへの安心感や、感謝が多く語られており、児童クラブ保護者のみならず地域の乳幼児保護者からも職員の対応についての評価が高い。日頃より、子育て支援に対するスタッフの高い意識や「児童館サポート事業」等の研修の場で学びを深めていることが反映されている。地域の子育て支援及び児童育成支援の場としての役割を十分果たしていると評価できる。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項